

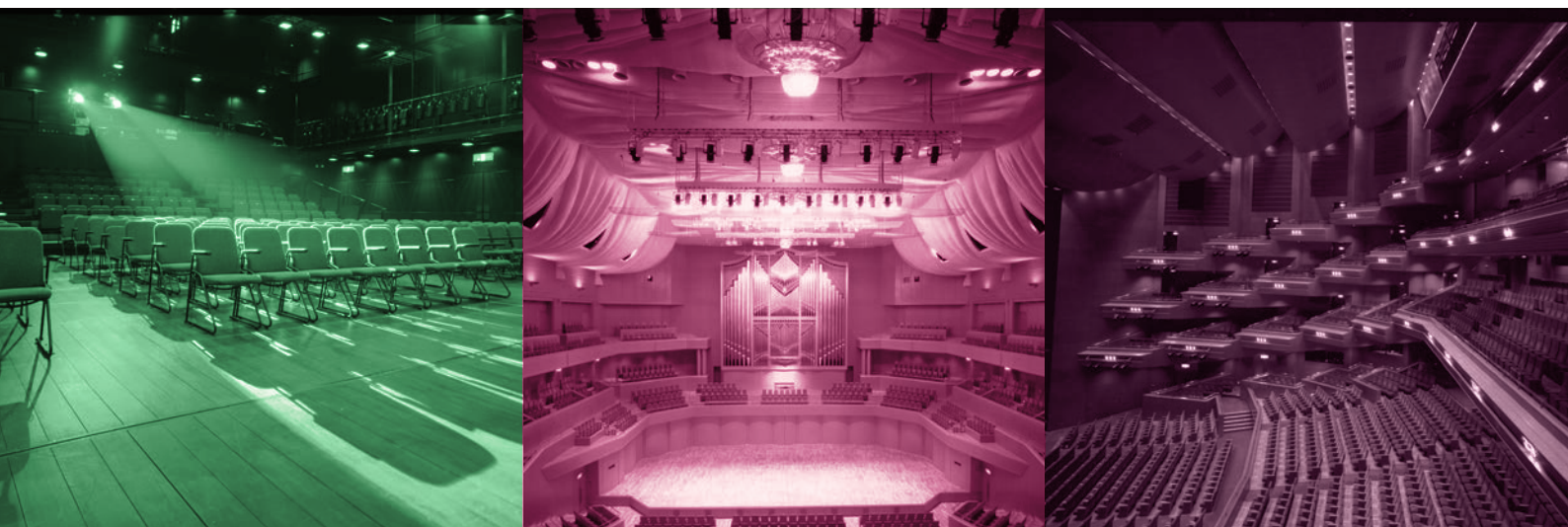
愛知県芸術劇場 平成28年度舞台芸術研修プログラム

# 舞台芸術人材養成ラボ 2016-2017 報告書

主催：愛知県芸術劇場

共催：公益財団法人名古屋市文化振興事業団（劇場職員セミナー）

助成：一般財団法人地域創造、平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
公益財団法人セゾン文化財団（舞台芸術創造セミナー）



## はじめに

愛知県芸術劇場では年間を通じてさまざまな研修プログラムを実施しています。平成28(2016)年度も、昨年度に引き続き、「舞台芸術人材養成ラボ」として、対象者・目的別に4つのプログラムを開催しました。各プログラムともにそれぞれ改善を重ね、地域のニーズや芸術環境の現状に対応した内容となるよう努めました。

対象者として主に舞台芸術等を学ぶ学生を想定し、若い優秀な人材が舞台芸術に関わる仕事に関心を持ち、実際に仕事に就く手助けとなることを目的とした2つのインターン・プログラム。そして、舞台芸術に関わる専門人材を想定した、仕事の内容やキャリアに応じてのスキルアップと情報交換の場となる2つのセミナー。今年度はインターンとセミナーを橋渡しするため、劇場職員セミナーの中で学生を対象とした「舞台芸術仕事ナビ」も開催しました。そのほか、愛知県公立文化施設協議会やNPO法人Explatなどの協力・共催によるプログラムも含め、より充実した研修を実施しました。

今後も、引き続き研修プログラムを開催し、地域の拠点劇場としての役割を果たしていくとともに、この地域全体での舞台芸術の振興及び創造的活動等の環境の整備につなげます。

愛知県芸術劇場  
館長 丹羽康雄

## 愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成ラボ

### ①職場体験プログラム P.4

劇場の仕事について  
知りたい人のために

#### 学生インターン

職場体験、大学等と連携したインターンシップの受入

**対象** アートマネジメント、舞台技術、舞台芸術振興等に関心のある学生。(大学2年生での受講を推奨)

**募集期間** 6月

**実施期間** 7月～8月(3日間)

**内容** 劇場の仕事全般についての概要説明と主催公演の現場体験。

### ②実践実習プログラム P.5～7

舞台芸術のプロを  
目指す人のために

#### 劇場インターン

企画制作コース・舞台技術コース/個別枠

**対象** 舞台芸術に関わる仕事に就きたいと考えている学生(大学2年生・3年生での受講を推奨)や、そうした仕事を始めてもいない若手制作者・技術者。

**募集期間** 5月

**実施期間** 1年目:6月～12月(25日間程度)  
2年目:通年(10日程度)

**内容** 企画制作及び舞台技術の2コースで実施。企画制作・舞台技術の基礎から学び、実践能力の習得と向上を目指す長期インターン。2年継続しての受講を推奨。

### ③技能習熟プログラム P.8～12

中堅～ベテラン職員の  
ために

#### 劇場職員セミナー

**対象** 公立劇場等の中堅職員(3～10年目程度の勤務者を想定)等。

**募集期間** 11月～12月

**実施期間** 1月(3日間)

**内容** 職員の情報交換やスキルアップなど専門性の向上を図る。舞台技術、広報・アートマネジメントをテーマとした講演、グループ討議、実習。

### ④創造制作プログラム P.14,15

作品創造に関わる人の  
ために

#### 舞台芸術創造セミナー

**対象** アーティスト、公演制作者、劇場職員、大学等で舞台芸術を学ぶ学生、芸術文化コーディネーター等。

**募集期間** 12月～2月

**実施期間** 1月～3月(2～5日間)

**内容** 新しい作品創造、クオリティの高い作品創造のために知っておくべき舞台技術を学ぶ実習やクリエイション・ワークショップ。

情報交換とネットワークの共有・地域の拠点劇場としての役割  
地域全体での舞台芸術の振興・創造的活動等の環境の整備

新任職員のために  
「愛公文セミナー」

文化庁・全国公立文化施設協議会・  
NPO 法人 Explat ほかとの共催・協力

研修生の受け入れ

平成 28 (2016) 年度実績

【舞台芸術人材養成ラボ】

プログラム/コース		講師等	場所	日程	日数	参加人数(人)		
① 職場体験プログラム 学生インターン		丹羽康雄(愛知県芸術劇場館長) ほか劇場職員	コンサートホール ほか	8/1~8/3	3日	6		
② 実践実習プログラム 劇場インターン	1年目	企画制作コース	小ホール ほか	6/10~ 12/19	62日 (平均28日参加)	4		
		舞台技術コース				4		
	【個別枠】公演制作実習			藤井明子(愛知県芸術劇場チーフマネージャー) 世古口善徳(愛知県芸術劇場シニアエンジニア) 山本麦子(愛知県芸術劇場プロデューサー) ほか劇場職員	8/1~ 10/23	32日 (平均11日参加)	3	
	2年目	企画制作コース		4/12~ 3/30	25日 (平均6日参加)	2		
舞台技術コース		3						
③ 技能習熟プログラム 劇場職員 セミナー	基調講演 全体	「劇場に求められる拠点機能の広がりー 芸術文化、地域コミュニティ、防災」	山海隆弘(公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 埼玉会館長 兼 劇場部シニアテクニカルアドバイザー)	大リハーサル室	1/17	51		
		防災訓練 (1)爆破予告テロ (2)火災発生	愛知県警察、名古屋市消防局 ほか	コンサートホール		227		
		防災について~公演の演出と劇場の安全確保の ための判断についてのパネルディスカッション~	佐藤和宏(株式会社サンデーフォークプロモーション コンサート本部第2制作部部長) ほか	大リハーサル室		85		
	舞台技術系	技術者・プロデューサー・ アーティストが語る!		古賀慎治(トロンボーン奏者・東京藝術大学 准教授・日本トロンボーン協会理事) ほか	アートスペースEF	1/18	19	
		事例(愛知県芸術劇場小ホール改修工 事)から改修について考える		浅野芳夫 (愛知県芸術劇場劇場運営部長)	大リハーサル室	1/19	28	
		今さら聞けない、 舞台照明の安全について		河原裕輝(名古屋市東文化小劇場館長・市 民ギャラリー矢田所長)			34	
		今さら聞けない、 舞台音響の安全について		大矢英和 (市民ギャラリー栄所長・東山荘館長)			30	
	今さら聞けない、舞台の安全について		野々村篤寛 (名古屋市天白文化小劇場技術)	27				
	広報・企画制作系	海外招聘公演事情と情報交流		唐津絵理(愛知県芸術劇場シニアプロ デューサー) ほか	アートスペースA	1/18	27	
		実践演習「危機管理と広報」		五十嵐寛(株式会社ハーバーコミュニケー ションズ代表取締役)			29	
舞台芸術仕事ナビ			27					
「売れない理由がわかりますか?」~結 果がでる広報活動はあるのか~		石田智也 (とことんマーケティング講師)	1/19	42				
④ 創造制作プログラム 舞台芸術創造セミナー 山本卓卓(範宙遊泳)によるクリエイション・ワークショップ 「ゴドーを待つ人もいない」in愛知		山本卓卓(範宙遊泳・ドキュメント) 千葉広樹(Kinetic・サンガツ・rabbitoo) 中山奈美(照明家)	大リハーサル室	3/17~ 3/20	4日	23		
合計人数						671		

その他

【関連セミナー】

愛公文セミナー	I	①舞台業務の基礎知識 ②自主文化事業の制作実務	講師: 浅野芳夫(愛知県芸術劇場劇場運営部長) 丹羽功(名古屋市芸術創造センター館長) ほか	アートスペースEF	7/5	1日	49	127
	II	③ホールの仕事とは?(文化政策を取り 巻く環境) ④施設の管理と運営			8/2	1日	43	
	III	⑤リスクマネジメント ⑥自主文化事業の企画立案			11/1	1日	35	

【関連シンポジウム】

文化庁委託事業 「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」 舞台芸術のアートマネジメント専門人材の人材育成と 労働環境を考えるシンポジウム	プレゼンター: 綿江彰輝(一般社団法人芸術と創造代表 理事) ほか	アートスペースEF	1/20	1日	34
--	---	-----------	------	----	----

【研修生の受け入れ】

自主制作公演への研修生受け入れ	派遣団体: かすがい市民文化財団	小ホール ほか	4/19,22	2日	2
-----------------	---------------------	---------	---------	----	---



# 学生インターン 職場体験、大学等と連携したインターンシップの受入

**対 象** アートマネジメント、舞台技術、舞台芸術振興等に関心のある学生。

## 研修内容

日程	内容
2016.8/1	講義（劇場の仕事について、自主事業・広報・舞台技術について等）、施設見学
8/2	自主事業制作現場体験（劇場探検ツアーリハーサル）
8/3	自主事業制作現場体験（劇場探検ツアー本番）、振り返り

**日 程** 2016/8/1～8/3（3日間）

**会 場** 愛知県芸術劇場コンサートホール  
ほか

**講 師** 丹羽康雄（愛知県芸術劇場館長）、  
ほか劇場職員

**参 加 者** 6人（静岡大学、関西学院大学、近畿大学、名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校、名古屋経済大学市邨高等学校）

## 実習日誌より：

- 劇場ではたくさんの方々の仕事によって一つのものを作り上げているのだと分かりました。人とのコミュニケーションを取る能力の大切さと臨機応変に対応する力の必要性を感じました。（大学3年生）
- 3日間で、劇場の現場で働いている人の生の声を聞くことができ、とても勉強になりました。（専門学校2年生）
- 今まで何度かコンサートに来たことはありましたが、裏側について考えたことはなかったので、そうした仕事があることが分かり嬉しかったです。笑顔で接客することはまだまだだと思いました。（高校3年生）



# 劇場インターン ■1年目【企画制作コース・舞台技術コース】

**対 象** 舞台芸術に関わる仕事に就きたいと考えている学生、及びそうした仕事を始めて間もない若手制作者・技術者。

**研修内容**

日程	企画制作コース	舞台技術コース
2016. 6/10、15、23、24、9/21	①劇場研修（講義・基礎実習）：愛知県芸術劇場での仕事全体について、自主事業・広報・舞台技術について、施設見学	
7/22～8/20	②企画実習1：AAF戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』の、SNSを使った広報・ロビー装飾案の企画・立案・実施	
8/2～9/13	③公演現場実習1：AAF戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』の稽古場立ち合い、受付、ロビー装飾等制作実習	③公演現場実習1：AAF戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』の舞台見学、仕込み、バラシ等舞台技術実習
9/30～12/5	④企画実習2：AAF戯曲賞公開審査会を盛り上げる関連企画の企画・立案・実施	
12/10、11	⑤公演現場実習2：AAF戯曲賞公開審査会・関連企画の受付、設営等制作実習	⑤公演現場実習2：AAF戯曲賞公開審査会・関連企画の仕込み、バラシ、音響、照明等舞台技術実習
6/17～11/27 （上記の期間に開催する） （9公演中3公演以上）	⑥実務研修 稽古立ち合い、受付実習など	⑥実務研修 舞台管理業務見学、仕込み補助実習など
9/26、12/19	⑦振り返り	

**日 程** 2016/6/10～12/19 うち62日  
（平均28日参加）

**会 場** 愛知県芸術劇場小ホール（ほか）

**講 師** 世古口善徳（愛知県芸術劇場シニアエンジニア）、山本麦子（愛知県芸術劇場プロデューサー）、藤井明子（愛知県芸術劇場チーフマネージャー）、ほか劇場職員

**参 加 者** 8人（愛知大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学、椋山女学園大学、名古屋工業大学）

**レポートより：**

- 劇場での企画制作の仕事について何も知らないということに気づかされました。体験できたのはほんの一部で、まだまだ見えないところで多くの人関わって作品を上演しているのだということを感じました。自分の劇団の制作で活かせることとともに、様々な場面での人と関わっていく時に大切なことを学んだと思っています。（企画制作コース、大学3年生）
- 大道具の仕事とともに企画制作の仕事も体験することができ、自分の演劇活動や大学の授業で活かすことができました。いろいろな分野の知識を得ることで、この先、働く中でできることの幅や発想の豊かさが広がると思いました。（舞台技術コース、大学3年生）





## 劇場インターン ■1年目【個別枠】公演制作実習

**対 象** 意欲・基礎的な知識はあるが、遠方在住等のため1年目プログラムへの継続的な参加が難しい者。

**研修内容** 公演の仕込み・本番・撤収日の制作・運営を短期集中的に実施体験した。

**研修公演** 劇場探検ツアー  
「アリスの作曲★大作戦」  
『わかったさんのクッキー』  
あいちトリエンナーレ2016  
ダニ・リマ『Little collection of everything』  
イスラエル・ガルバン『SOLO』『FLA.CO.MEN』  
カンパニーDCA／フィリップ・ドゥクフレ『CONTACT』  
Co. 山田うん『いきのね』  
パフォーマンスアート・セレクション

**日 程** 2016/8/1～10/23 うち32日  
(平均11日参加)

**会 場** 愛知県芸術劇場小ホール (ほか)

**講 師** 藤井明子(愛知県芸術劇場チーフ  
マネージャー)、唐津絵理(愛知県  
芸術劇場シニアプロデューサー)、ほ  
か劇場職員等

**参 加 者** 3人(東京藝術大学、旭丘高等学  
校、社会人)

### レポートより:

- インターンを通して、一つの公演を当日開催するまでどれだけの時間とどれだけの人の力がかかっているのを感じさせられました。多数の素晴らしい作品に触れることができたこともよかったです。公演を観る楽しさとともに踊る楽しさも改めて強く感じる感じました。今回のインターンで学んだこと、感じたことは、今後の自分の活動にいきてくると思います。(大学3年生)
- 現場に入ってみないとわからないことを実感できました。多数のスタッフのチームワークがすごいと感激した。とても刺激的な体験だった。(社会人)



## 劇場インターン ■2年目【企画制作コース・舞台技術コース】

**対 象** 1年目の受講修了者で希望する者。

**研修内容** 企画制作コース、舞台技術コースともに、1年目で学んだ基礎知識をもとに公演現場での実地体験を重ねることにより、実践的・専門的な知識・技術を体得。小ホールでの「ミニセレ」公演を中心に、演劇・ダンス・音楽など様々な公演に劇場スタッフとして関わった。有償。

**研修公演** 島地保武×環ROY『ありか』  
THE LAST GREAT HUNT『It's Dark Outside おうちにかえろう』  
木ノ下歌舞伎『義経千本桜―渡海屋・大物浦―』  
ニンフェアール第12回コンサート「ReAccord」  
こんにゃく座によるワークショップ オペラ『魔笛』をつくろう！  
『わかったさんのクッキー』  
第15回AAF戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』  
ヴェルテダンス『CORRECTION』  
パフォーマンスアーツ・セレクション  
「アンサンブル・レゾナンス 初来日 with イエルーン・ベルワルツ」コンサート

**日 程** 2016/4/12～2017/3/30  
うち25日（平均6日参加）

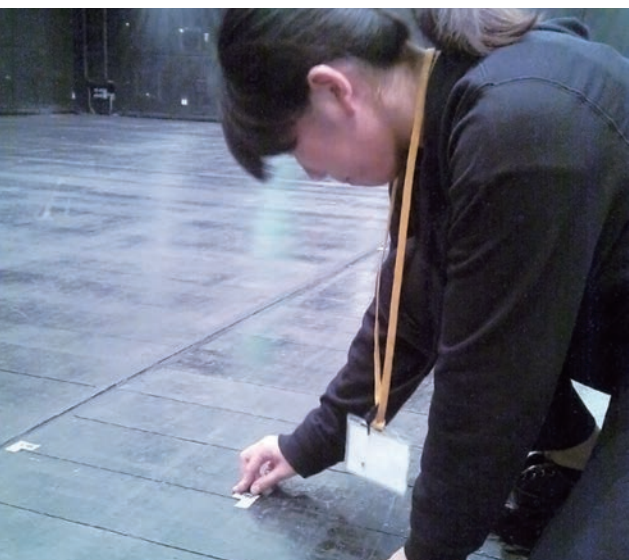
**会 場** 愛知県芸術劇場小ホール（ほか）

**講 師** 世古口善徳（愛知県芸術劇場シニアエンジニア）、山本麦子（愛知県芸術劇場プロデューサー）、ほか劇場職員

**参 加 者** 5人（愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知淑徳大学、金城学院大学）

### レポートより：

- 2年間インターンを経験し劇場での仕事を知ることを通して、自分の将来のライフスタイルを考えるきっかけとなった。（企画制作コース、大学4年生）
- とても濃く充実したインターン活動だった。舞台スタッフがどのように働いておられるのか、身をもって知ることができ、就職活動に役に立ちました。ここで学んだことを忘れず、これから仕事として舞台に関わっていきたいと思います。（舞台技術コース、大学4年生）
- 演劇に関わる仕事をしてみたいが糸口が見つからず、きっかけや実践経験がほしくてインターンに応募した。1年目は学ぶ姿勢で、2年目は緊張感を持って取り組んだ。劇場に就職するしかないと思っていたが、様々な関わり方があると分かり、その考え方を就職活動にいかすことができた。（舞台技術コース、大学4年生）



# 劇場職員セミナー

共催 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

対象 公立劇場等の中堅職員(3~10年目程度の勤務者を想定) 等。

日程 2017/1/17~1/19 (3日間)

会場 愛知芸術文化センターアートスペースA ほか

参加者 626人(名古屋市文化振興事業団、青少年文化センター、名古屋市公会堂、おおぶ文化交流の杜、知多市勤労文化会館、三井住友海上しらかわホール、長久手市文化の家、一宮市尾西市民会館、パティオ池鯉鮒(知立市文化会館)、常滑市民文化会館、かすがい市民文化財団、一宮市民会館、豊川市文化会館、尾張旭市文化会館、穂の国とよはし芸術劇場PLAT、宗次ホール、東海市芸術劇場、安城市市民会館はじめ愛知県内市町村の劇場職員、サラマンカホール、下呂交流会館アクティブ、パロー文化ホール(多治見市文化会館)、可児市創造文化センターほか岐阜県内の劇場職員、三重県総合文化センター、伊賀市文化会館、伊勢市教育委員会事務局、椋山女学園大学、愛知淑徳大学、愛知学泉大学、名古屋芸術大学、トヨタ産業技術記念館、愛知県県民生活部文化芸術課国際芸術祭推進室、東雲座カンパニー、劇団うりんご、神奈川芸術文化財団、ミュゼ川崎シンフォニーホール、杜のホールはしもと(相模原市民文化財団)、福井県文化振興事業団、越前市文化センター、豊中市立文化芸術センター、いわき芸術文化交流館アリオス、毎日放送、北九州ソレイユホール、構成ビル管理株式会社(秋田アトリオン)、びわ湖ホール、佐藤小夜子DANCE LABORATORY、Ant-Artice Art production ほか)

## ■研修内容

### ①基調講演「劇場に求められる拠点機能の広がり—芸術文化、地域コミュニティ、防災」

劇場が地域コミュニティ・賑わい創出のために取り組める事業について、埼玉会館の実例を交えて紹介。また、災害時に劇場が担う役割や、その際の問題点などを取り上げ、各劇場における防災への取り組みについて検討した。

#### 講師

山海隆弘(公益財団法人埼玉県文化振興財団 埼玉会館長 兼 劇場部シニアテクニカルアドバイザー)



### ②防災訓練 (1) 爆破予告テロ (2) 火災発生 (愛知県警察、名古屋市消防局とともに)

平日の午後、開演直前に爆破予告の電話が劇場に入ったという想定で、劇場職員が不審物を発見、警察機動隊による爆弾処理を行う訓練を行った。その後、コンサートホールのホワイエで火災が発生したという想定で、避難経路から観客を屋外に避難させる訓練を行った。





### ③ 防災について～公演の演出と劇場の安全確保のための判断についてのパネルディスカッション～

愛知県芸術劇場における防災の取り組みを紹介した後、防災訓練の振り返りを行った。その後グループに分かれ、各劇場の防災の取り組みや緊急地震速報の活用事例を発表し合い、トリアージや爆破予告時の避難誘導方法などを検討した。

#### パネラー

佐藤和宏(株式会社サンデーフォークプロモーション コンサート本部第2制作部部長)  
 羽山勝人(長久手市文化の家事務局長)  
 永井薫(愛知県警察本部警備部警備課課長補佐テロ対策担当)  
 筒井隆司(愛知県東警察署警備課警備課長)  
 水谷武夫(名古屋市東消防署予防課長)  
 中島康雄(名古屋市東消防署消防第二課長)

#### 司会・コーディネーター

浅野芳夫(愛知県芸術劇場劇場運営部長)



### ④ 技術者・プロデューサー・アーティストが語る!

劇場やそのスタッフに対するアーティストのホンネの意見、プロデューサー視点の出演者の選び方など、笑いを交えたトークセッションを開催した。

#### パネラー

古賀慎治(トロンボーン奏者、東京藝術大学音楽学部准教授、日本トロンボーン協会理事)  
 水野学(愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)

#### 司会・コーディネーター

浅野芳夫(愛知県芸術劇場劇場運営部長)



### ⑤ 事例(愛知県芸術劇場小ホール改修工事)から改修について考える

改修時の備品移動の問題、騒音調査など、事前に行わなければならないことを、愛知県芸術劇場小ホールに加えて長久手市文化の家の事例も交えながら紹介した。

#### 講師

浅野芳夫(愛知県芸術劇場劇場運営部長)



### ③技能習熟プログラム

#### ⑥海外招聘公演事情と情報交流

自主事業での海外のパフォーマンス作品の上演について、前半は基調報告を、後半はグループに分かれて各自の劇場における取り組み方・事情を話し合った。

##### プレゼンター

唐津絵理（愛知県芸術劇場シニアプロデューサー）

山本麦子（愛知県芸術劇場プロデューサー）

##### 司会・コーディネーター

藤井明子（愛知県芸術劇場企画制作グループチーフマネージャー）



#### ⑦実践演習「危機管理と広報」

前半はマスコミへの対応方法について講義を行い、後半は実習としてシナリオをもとに模擬記者会見を行うことで、具体的・実践的な対応方法を確認し体験した。

##### 講師

五十嵐寛（株式会社ハーバーコミュニケーションズ 代表取締役）



### ⑧今さら聞けない、舞台照明の安全について

照明事故の事例をもとに、照明器具の落下防止や幕への引火防止など、劇場技術スタッフが気を付けるべき内容について講義が行われた。

#### 講師

河原裕輝（名古屋市東文化小劇場館長、市民ギャラリー矢田所長）

#### ナビゲーター

丹羽功（名古屋市芸術創造センター館長）  
浅野芳夫（愛知県芸術劇場劇場運営部長）



### ⑨今さら聞けない、舞台音響の安全について

スピーカー等の設置事例やラジオマイクの周波数・録音、音響設備の保守点検などについて、実践的な講義が行われた。

#### 講師

大矢英和（市民ギャラリー栄所長、東山荘館長）  
長谷川亘（名古屋市文化振興事業団文化振興部）

#### ナビゲーター

丹羽功（名古屋市芸術創造センター館長）  
浅野芳夫（愛知県芸術劇場劇場運営部長）



### ⑩今さら聞けない、舞台の安全について

迫りや綱元などでの事故事例を紹介しながら、気を付けるべきことを紹介。後半は平台を用いて安全な台組の仕方を実践的に行った。

#### 講師

野々村篤寛（名古屋市天白文化小劇場技術）

#### ナビゲーター

丹羽功（名古屋市芸術創造センター館長）  
浅野芳夫（愛知県芸術劇場劇場運営部長）





### ③ 技能習熟プログラム

#### ⑪ 舞台芸術仕事ナビ

将来、劇場や文化芸術に携わる仕事に就きたいと考えている学生を対象に、各分野で活躍する方を招いてそれぞれの仕事内容や取り組みについて紹介。その後、質疑応答などを行った。

##### パネラー

岡田知子（かすがい市民文化財団総務グループ）  
田邊仁那（金井大道具株式会社緑山工場製作課）  
木全美和（株式会社OFFICEリラン制作）  
大園美也子（東海テレビ放送株式会社事業局事業部）  
岩澤陽介（名古屋フィルハーモニー交響楽団事務局演奏事業部）  
平松隆之（劇団うりんこ／うりんこ劇場制作部）

##### 司会・コーディネーター

林健次郎（愛知県芸術劇場企画制作部長代理）



#### ⑫ 「売れない理由がわかりますか？」～結果がでる広報活動はあるのか～

モノを売る際に何を重視するか、何を伝えたいかの考え方について、グループワークを交えながら実践的な講義を行った。

##### 講師

石田智也（塩屋土地株式会社コミュニケーション部長、とことんマーケティング 講師）

##### 司会・コーディネーター

森川治朗（名古屋市文化振興事業団文化振興部経営企画主幹）  
大森千聡（名古屋市文化振興事業団文化振興部）



## 【関連セミナー】愛公文セミナー

愛知県芸術劇場は、愛知県内の公立文化施設による愛知県公立文化施設協議会事務局を務め、今年度も年間3回の講座を開催した。

**対 象** 愛知県公立文化施設協議会加盟館の新規採用職員、異動により劇場勤務となった者 等。

**日 程** 2016/7/5、8/2、11/1

**会 場** 愛知芸術文化センターアートスペースEF

**講 師** 浅野芳夫（愛知県芸術劇場劇場運営部長）、丹羽功（名古屋芸術創造センター館長）、林健次郎（愛知県芸術劇場企画制作部長代理）、粉山勝人（長久手市文化の家事務局長）、藪田哲也（幸田町文化振興協会統括マネージャー）、米本一成（かすがい市民文化財団総務グループ及び施設サービスグループマネージャー）

**参加者数** I 49人 II 43人 III 35人

**研修内容**

日程	内容
I 2016.7/5	①舞台業務の基礎知識 ②自主文化事業の制作実務
II 8/2	③文化政策を取り巻く環境（ホールの仕事とは？） ④施設の管理と運営
III 11/1	⑤リスクマネジメント ⑥自主文化事業の企画立案。



文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

## 【関連シンポジウム】舞台芸術のアートマネジメント専門人材の人材育成と労働環境を考えるシンポジウム ～統計・調査から分かる労働環境とこれから必要な人材育成～

**主催** 文化庁、特定非営利活動法人Explat、愛知県芸術劇場

舞台芸術業界のマネジメント専門人材の労働環境の実態と課題についてのシンポジウムを開催。統計結果をもとに、現状の課題を明らかにし、これから目指すべき労働環境、人材育成について議論した。

**日 程** 2017/1/20

**会 場** 愛知芸術文化センターアートスペースEF

**参加者数** 34人

**研修内容**

第1部	「舞台芸術に関わるマネジメント専門人材の労働環境実態調査2016」アンケート結果報告 プレゼンター：綿江彰禪（一般社団法人芸術と創造代表理事）
第2部	舞台芸術のアートマネジメント専門人材の人材育成と労働環境を考えるシンポジウム ファシリテーター：植松侑子（特定非営利活動法人Explat理事長） パネラー：唐津絵理（愛知県芸術劇場シニアプロデューサー）、加藤仲葉（劇団ままと制作）、松浦 茂之（三重県文化会館事業課長）





# 舞台芸術創造セミナー

## 山本卓卓（範宙遊泳）によるクリエイション・ワークショップ 『ゴドーを待つ人もいない』in愛知

助成 平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業、  
一般財団法人地域創造、公益財団法人セゾン文化財団

対象 新しい舞台芸術作品の創造に関心のある、アーティスト、制作者、劇場職員、大学等にて舞台芸術を学ぶ学生、芸術文化コーディネーター等。

### 研修内容

パフォーマーのいない演劇『ゴドーを待つ人もいない』について、参加者全員が、演出・美術、音楽、照明の3つのセクションに分かれ、プラン作り・創作・ショーイングの準備・本番実施を行った。参加者から出された様々なプランを柔軟に戯曲に取り入れていく形で、コラボレイティブな舞台作品づくりを体験した。

日程	演出・美術	音楽	照明
2017. 3/17	<ul style="list-style-type: none"> <li>『ゴドーを待つ人もいない』について概説</li> <li>各講師より自己紹介と各セクションでやりたいことの説明</li> <li>空間演出についてのワーク、実践</li> <li>動的な演出（しかけ）についてのワーク、実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作曲に関するレクチャー、質疑応答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明のアイデア出しワーク、実験</li> </ul>
3/18	<ul style="list-style-type: none"> <li>戯曲の読み込み</li> <li>演出・美術・映像の3チームの分かれてのワーク、実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器演奏、セッション体験</li> <li>戯曲の読み込み</li> <li>録音ワーク1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戯曲の読み込み</li> <li>照明のアイデア出しワーク、実験</li> </ul>
3/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>演出・美術・映像の3チームの分かれてのワーク、実験</li> <li>リハーサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>録音ワーク2、編集</li> <li>舞台での音出し</li> <li>リハーサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明のプラン作り、仕込み・シュート、絵作り</li> <li>リハーサル</li> </ul>
3/20	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハーサル</li> <li>本番</li> <li>振り返り</li> </ul>		

日程 2017/3/17～3/20（4日間）

会場 愛知県芸術劇場大リハーサル室

講師 山本卓卓（範宙遊泳、ドキュメントメン  
ト）、千葉広樹（Kinetic、サンガツ、  
rabbitoo）、中山奈美（照明家）

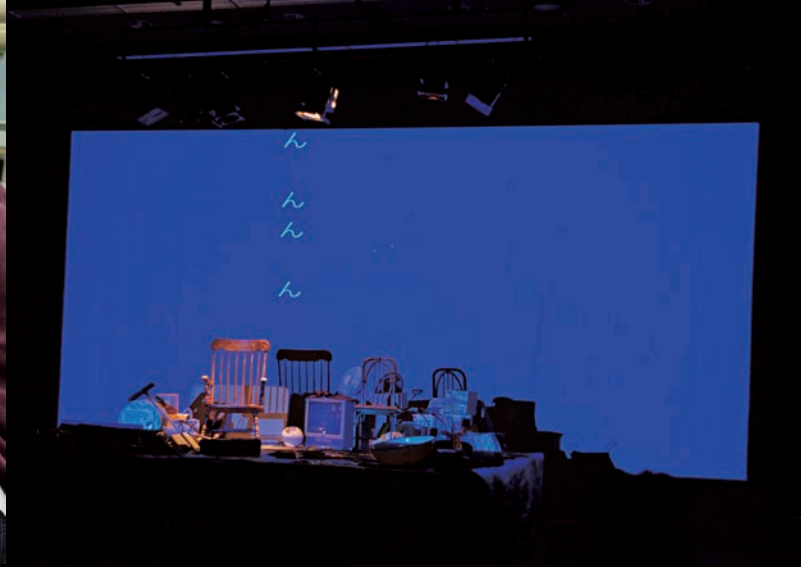
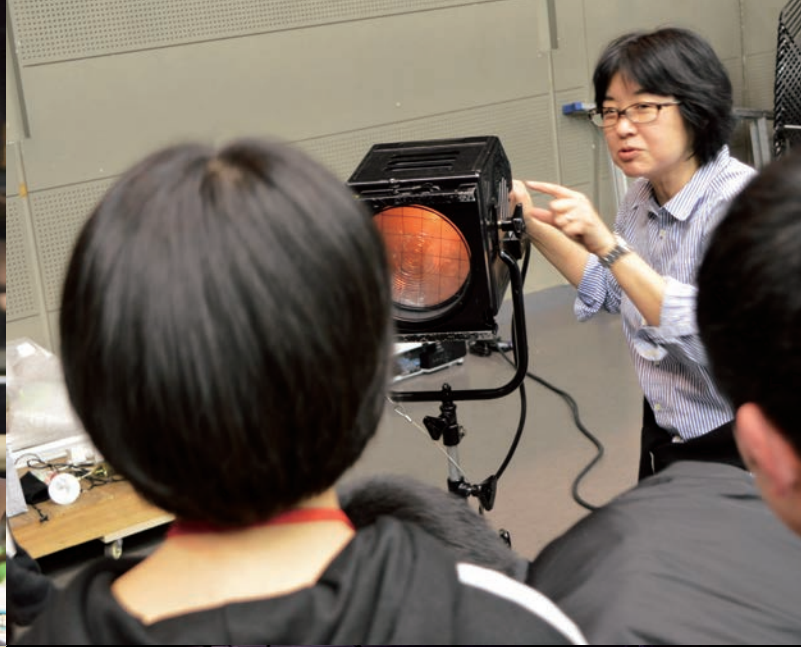
参加者 23人（劇団員、ダンスカンパニーメン  
バー、愛知淑徳大学・東京造形  
大学・名古屋学芸大学・京都造形芸  
術大学大学院ほかの学生、ほか）

### アンケートより：

- とりあえず試すということは、普段はしな  
かったり出来なかつたりするのですが、講師  
の山本さんが「とりあえずやってみよう」「で  
きるか考えてみて」と言ってくださるので、  
無謀なことでもどんどんチャレンジしてみよ  
う!と思えました。（20代女性）
- 普段は一人で作品を作ることが多いので、沢  
山会話をしながら大勢の人たちと一つの作  
品を作るのは新鮮で、こんな短い日数で出  
来上がることに驚きました。自由な発想で  
固定概念にとらわれず、意見を出し合う事が  
大切で、そうすることでどんどんものができ  
ていくんだなと感じました。（30代女性）
- 演劇ではなく現代アートをやっている私にとつ  
ても、とても充実した時間でした。タイトなス  
ケジュールでのワークショップは大変でした  
が、非常に勉強になりました。（30代女性）







**愛知県芸術劇場 平成 28 年度舞台芸術研修プログラム  
舞台芸術人材養成ラボ 2016-2017 報告書**

発行：愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）

2017/3/31

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

TEL 052-971-5609 Email event@aaf.or.jp

デザイン・印刷：株式会社日総研印刷